



よこすか海洋シンポジウム2024 (第26回)

「横須賀と地震－海と陸の地震のメカニズム－」

9月1日（日）講堂において、まちづくり文化ボランティアグループよこすか市民会議（YCC）が主催するシンポジウムを開催しました。

今年、防災の日に合わせて地震をテーマとして行われました。午前中には横須賀市消防局の協力を得て地震体験車とVRを組み合わせた地震体験を計画していましたが、台風10号の影響による降雨があったことから地震体験車は取止めとなり、VRのみで地震を体感していただきました。

シンポジウムでは、JAMSTECの尾鼻講師が一般的な地震発生メカニズムについて解説され、続いて横須賀市自然・人文博物館学芸員の柴田講師が三浦半島にある五つの断層について説明されました。

続いて三浦半島活断層調査会の布施講師が101年前の関東大震災による三浦半島の被害について紹介され、最後には横須賀市市長室危機管理課の久保講師が横須賀市の指定している避難場所やその運営要領等について説明されました。

約150名の方が参加され、地震に関する学術的な発表から、三浦半島の身近な断層の説明を受け、最後は被災した場合の避難所の運営など体系的な講演で、皆さん身近な問題として熱心に聞き入っておられました。

最後には、三笠保存会が記念艦「三笠」について紹介を行いました。

